

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和7年6月30日 札幌市長 様 提出者 住 所 千003-0029 札幌市白石区平和通11丁目北9-20 氏 名 道央舗道 株式会社 代表取締役 加藤 秀幸 電話番号 011-864-6740	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	道央舗道 株式会社
事業場の所在地	札幌市白石区平和通11丁目北9-20
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完工高 101,300万円 資本金 2,000万円
③ 従業員数	27名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物 → 収集運搬業者 自社運搬 → 中間処理業者 → リサイクル 最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
代表取締役 ↓ 工事課長 ↓ 現場責任者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	—	—
	（これまでに実施した取組） ・現場で適正な数量計画管理を行い、余分な産業廃棄物の削減を図る		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	—	—
	（今後実施する予定の取組） ・上記事項を継続実施予定		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類(コンガラ・アスカラ)・木くず・金属くず・廃プラスチック類の分別混載がないかの確認。		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も産業廃棄物混載がないよう、継続的に実施する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

単位:t

産業廃棄物の種類	①排出量		②自ら直接 再生利用 した量		③自ら直接 埋立処分 した量		④自ら中間 処理した量		⑤ ④のうち 熱回収を 行った量		⑥自ら中間処 理 した後の残 さ量		⑦自ら中間処 理により減量		⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量		⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量											
																	全処理委託量		⑪ ⑩のうち優良 認定処理業者へ の処理委託量		⑫ ⑩のうち再利用 業者への処理委託 量		⑬ ⑩のうち熱 回収認定業者へ の処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回 収認定業者以外の 熱解消を行った業 者への処理委託量			
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			計画	実績	計画	実績	計画	実績				
廃プラスチック類	6.00	10.99															6.00	10.99	3.00	2.40	3.00	8.59						
アスコンがら	1,000.00	1,113.00															1,000.00	1,113.00			1,000.00	1,113.00						
コンクリートがら	500.00	412.50															500.00	412.50	40.00	43.50	460.00	369.00						
汚泥	3.00	3.15															3.00	3.15	3.00	3.15								
廃油	-	0.02															-	0.02		0.02								
合計	1,509.00	1,539.66															1,509.00	1,539.66	46.00	49.07	1,463.00	1,490.59						